

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

会 長

署名委員

署名委員

第 1 回 上富良野町国民健康保険運営協議会議事録

- 1 日 時 自 平成 27 年 6 月 2 日 19 時 00 分
至 平成 27 年 6 月 2 日 20 時 15 分
- 2 場 所 上富良野町役場 3 階 第 2 会議室
- 3 出席者

公 益 代 表 北川 昭雄・五十嵐 順美

保険医・薬剤師代表 渋江 久・松井 英治・小玉 格

被 保 険 者 代 表 藤崎 環

(欠席委員 鎌田孝徳・大内和行・木津晴美)

事 務 局 町長・町民生活課長・総合窓口班主幹・健康づくり担当課長

三好主査・長谷川主査

- 4 付議議題

・平成 27 年度国民健康保険特別会計補正予算について

町長挨拶	
町 長	大変お忙しいところご参集いただき、また平素から国保運営に対し深いご理解とご協力をいただいていることに感謝申し上げます。平成 26 年度の国保事業の給付状況、決算状況について報告し、6 月定例議会へ上程する補正予算、主に決算に伴う繰越金についてご審議賜りたい。
町民生活課長	4 月 1 日付け人事異動で職員に異動がありましたのでご紹介いたします。 (町民生活課長、総合窓口班主幹、保健福祉課健康づくり推進課長挨拶)
会長挨拶	
会 長	夜分お疲れのところお集まりいただきありがとうございます。国保会計は制度上非常に厳しい会計である。法案成立により平成 30 年に都道府県移行される。健全運営できるよう皆様のお知恵を拝借したい。本日は平成 26 年度の決算状況、給付状況、それに伴う繰越金の補正という内容。平成 26 年度は赤字が心配されました、なんとか余剰金がでるような状況になった。まだまだ運営に関してはきびいいところがありますがよろしく願います。
町民生活課長	規則第 5 条で議長は会長が務めることとなっておりますので会長の進行でお願いいたします。
会 長	会議録署名委員については規則第 9 条第 2 項の規定により協議会に諮りこれを決めることとなっております。医師薬剤師代表から渋江委員、被保険者代表から藤崎委員にお願いしたい。
2 報告事項	
(1) 平成 26 年度国民健康保険給付の状況について	
事務局	議案 P1～5 平成 26 年度の被保険者加入状況並びに給付況について説明。 人口減少に伴い被保険者数も減少している。年間平均被保険者数は 3,000 人を下回り 2,984 人となった。例年より資格喪失より資格取得者が少なかった傾向にある。 一般被保険者の給付状況については被保険者数の減少に比べ費用額等は下がっておらず 1 人当りの医療費は増えている。高額医療費も一般分について前年を上回っている。退職者の保険給付については被保険者数が少ないため給付も出ていない。

制度廃止により今後も減少していく。前年対比 100 を超える部分については全体の数が少ないため 1 件の給付でも率が大きく変わる。

P5 は給付の状況をグラフにしたものです。前半は昨年を上回る月もありましたが、後半下がり、2 月にまた高額を含め少し高い給付となりました。全体的に件数は下がっているが、費用額等は退職を除き増えている状況となりました。

(2) 平成 26 年度国民健康保険特別会計収支状況について

事務局 P 6 から P 8、平成 26 年度国民健康保険特別会計収支状況について説明。

資料中の予算現計の額については、3 月において実施した補正予算後の数値となっています。国民健康保険税については、決算額合計 3 億 3639 万 9488 円となり、昨年の収納率 93.3%を 2.6%上回る 95.9%と高い収納率となり、予算に対し 417 万円増となった。国庫支出金の療養給付費負担金については、予算に対し 869 万円の増。国の財政調整交付金については、1,452 万 2,000 円の減。道の財政調整交付金については、742 万円の減となり歳入合計では予算に対し、936 万 1,265 円の減となった。

歳出について、総務費全体で予算に対し 169 万 7,396 円の残となった。保険給付費一般分の療養給付費については、3 月補正予算にて、3,500 万円の増額補正を行ったところですが 277 万 7,232 円の残となった。療養費につきましては、41 万 5,000 千円の補正を行いました、大きな給付が無く 40 万 8945 円の残となっております。高額療養費につきましては、943 万 9,000 千円の補正を行い、79 万 690 円の残となった。退職分につきましては、大きな給付が無く、全体で 411 万 4028 円の残となった。出産育児諸費につきましては、15 人分の予算であったが、実績は 8 人となり 315 万円の残となった。後期高齢者支援金については、531 万 4036 円の残。歳出合計では、予算に対し 2061 万 4383 円の残額。歳入から歳出を差し引き、1125 万 3118 円の黒字となり次年度へ繰り越しとなる決算内容となった。平成 26 年度については、大幅な税率改定を行っており、前回の協議会では、3500 万円程度の赤字の見込みと説明したが、国からの療養給付費負担金、国・道の財政調整交付金が見込みよりも多く入ってきたことにより平成 26 年度については黒字となった。しかし、黒字部分については、半年の給付実績を基に伸び率により概算で収入が入ってきているため、平成 27 年度には前年分の精算において返還が生じるため厳しい会計状況に変わりない。

財政調整基金状況であります、平成 26 年度は黒字の決算であったが、前年度の

	精算等もあるため、積み増しが厳しい状況に変わらない。
	<p>収納状況であります。現年課税分収納率 98.6%、滞納繰越分では 54.6%と現年課税分で 0.7%の増加、滞納繰越分では 18.6%の増加で全体としては 95.9%前年対比 2.6%の収納率の増加となり、高い収納率を維持しております。また、平成 26 年度不納欠損額については、113 万 3990 円となっております。</p>
松井委員	不納欠損について昨年と比べてどうか
事務局	昨年と大きな差はなく、10 名の不納欠損者での金額となった。平成 24 年度は 300 万円近い不納欠損があった。
松井委員	不納欠損の対象の方は上富良野に在住の方でしょうか。保険証はどうなっているのか。繰越が出来るかどうかという厳しい会計のため、不納欠損の扱いも重要である。今後不納欠損となるような予備軍はいるのか。
事務局	<p>不納欠損対象者は居住している方もいれば、行方不明の方、生活保護の方がいる。生活保護の方は法律で強制的に徴収できない。生活保護になったところで課税もされなくなる。滞納分は残るため今後も払ってもらうこととなる。徴収できる期間については徴収担当が努力している。平成 19 年度ぐらい滞納整理が強化され、収納率も高いため、予備軍は減少していくとご理解いただきたい。単年度で不納欠損額が増えることもあるが、件数は今後減少していく。</p>
	(3) その他について
健康づくり推進課長	
	<p>平成 30 年度から道へ移行される。第 1 の目標は医療費適正化計画の見直しと予防・健康づくりの推進である。保健事業については被保険者の特性に応じたきめ細かい保健事業の実施という観点から引き続き市町村が行うものとされ、保険者が行う自助努力への支援が追加される。予防・健康づくりへのインセンティブの強化については後期高齢者支援金の加算減算制度は継続し、特定健診・保健指導率に加え後発医薬品の使用割合指標が追加される。</p>
	<p>平成 26 年度の特健診受診率では 40 代から 59 歳までの受診率が低く、今後拡大に取り組む。平成 25 年度の特健診受診率では道内で 1 位になり、富良野沿線も上位に入るなど検討している。しかし、全国的にみると北海道はまだ低く全国平均にも達していない。昨年から実施している腹部エコーはキャンセル待ちが出るほ</p>

	<p>ど高評で今年は 200 名に拡大した。また土日を含めた特定健診日程、レディース、がん検診などとセットにすることで受診しやすいよう取り組んでいる。</p> <p>データヘルス計画の各論からは、上富良野町は同規模市町村、北海道、国とくらべ慢性腎不全とがんの割合が高い。人工透析患者は費用額が高額で長期化する疾患であることから、これらの予防に力を入れるため、今年度から検査項目に微量アルブミン尿の測定を追加する。また腎臓疾患には生活習慣病と関連があることが多い。生活習慣病は塩分の摂取量が重要であるため、尿から摂取している塩分の値を測定し保健指導につなげていく。</p>
町 長	<p>昨年 2 月に健康推進のまち宣言をした。スポーツ、レクリエーション等の実施という声もあるが、私の思いとしては保健事業に力を入れたいためご理解いただきたい。</p>
会 長	<p>ご意見ご質問ございませんか。</p>
各 委 員	<p>他に意見なし。</p>
2 諮問事項	
(1) 平成 27 年度国民健康保険特別会計補正予算について	
事 務 局	<p>議案 P9～11 により説明。</p> <p>主に平成 26 年度決算に伴う繰越金の補正 11,252 千円である。歳出については平成 26 年度一般会計より繰り入れたもので執行残が出たものを、再度一般会計へ繰出しとして戻すものである。諸支出金補正額の内訳は出産一時金及び出産支援金が 15 件予算していたところ 8 件となった。また財政安定化支援金の交付税算入額確定に伴うもの、並びに給与等の執行残となっている。歳入、歳出合わせて 11,252 千円を補正し、総額 1,553,064 千円とする補正予算である。</p>
委 員	<p>次回繰出し金の内訳について詳細の資料添付を願う。</p>
会 長	<p>他にご意見ご質問ございませんか。なければ 6 月議会へ上程させていただいてよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(他に意見なし。賛成多数、承認される。)</p>
	<p>・その他</p>
事 務 局	<p>平成 30 年度の都道府県移行に伴い新たに保険者努力支援制度が設けられ、後発医薬品の使用割も含まれることから、上富良野町としても今後普及に向け積極的に取り組んでいく。</p>

会 長 以上、報告案件、諮問事項がありましたが、他に何もなければこれで本日の運営
協議会を終わります。

20 時 15 分終了